大分市立明野西小学校　学力向上プラン１（８月）

取組番号⑤

学校教育目標	個性と創造性に富み、心身ともにたくましい子どもの育成
育成を目指す資質・能力	授業のユニバーサル・デザイン化や個に応じた指導の充実による、確かな学力の定着・向上

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	**各種学力調査の分析結果から明らかになった課題** ・国語、算数、理科、全ての項目で全国平均を上回っていた。 ・文章を読み取って答えたり、自分の考えを文章に書いたりする問題が苦手であることが分かった。	**各種学力調査の分析結果から明らかになった課題** ○課題を的確につかみ、自分の考えを表現する力の育成。 ・書く・読む活動の日常化の必要性。 ・日常の生活と結び付けた学習内容を工夫する。 ・家庭学習の方法の見直し。家庭学習にも、ICTを取り入れる。
	これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から) ○ユニバーサル・デザインを取り入れた1時間完結型授業の実践で「単元テスト平均75点以上を80%」が82%、「 平均60点未満の児童を8%以下 」が5% ○学級の全児童が発言し、考えを交流して課題を解決する授業(問題解決学習)、毎日1時間以上(ペアトーク・グループ学習を含む)教73% ○平均すると達成しているが、個では未達成のところもある。個に応じた指導の時間の確保が難しい。	
指導の状況	**1 組織的な授業改善の取組状況** ・落ち着いて学習ができるように、年度初めに学習規律、板書とノートの基本の型を学校で統一して、学期始めには、学習道具調べをすることにしている。また、「分かりやすい板書」や「ユニバーサルデザインの授業」についての研修を行い、確かな学力の定着・向上に努めている。 **2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況** ・家庭学習の手引きを全家庭へ配布し、学級懇談で説明した。	

学力に関する達成指標

授業が分かる・楽しいと感じる児童85%以上

今後の具体的な取組

【授業改善】

〈授業改善のテーマ・重点〉

授業のユニバーサルデザイン化や個に応じた指導の充実により、
確かな学力の定着・向上に努める。

〈取組内容〉
「焦点化・視覚化」の工夫
・子どもの思考に沿った課題提示や板書の構造化
・既習事項が分かる掲示物の活用

〈取組指標〉
・「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」のプレートを活用して分かりやすい板書を毎時行う。
・主体的に取り組める明確な課題設定を1単元で5割以上行う。

〈検証指標〉
・児童アンケート「勉強していることがよく分かって楽しい」を85%以上。

〈取組内容〉
「共有化」の工夫
・ペア・グループ活動
・ICTやホワイトボードの活用
・自分の考えや、振り返りをノートに書かせる。

〈取組指標〉
・自分の考えをもたせた上で考えを交流する場を、1日に1回以上設定する。
・ホワイトボードやICTの効果的な活用を週3回以上行う。

〈検証指標〉
・児童アンケート「授業中、発表している」を80%以上。
・ノートやホワイトボード、iPadに自分の考えを書けている。

【家庭・地域との協働】

〈家庭・地域の取組内容〉
・教育目標や経営方針、教育活動について保護者や地域の人に伝える。
・保護者や地域と連携して、教育活動を行う。

〈家庭・地域の取組指標〉
・学校新聞や学年通信で、学校での様子を月に一度は伝える。
・オープンスクールや授業参観で子どもの様子を見に来てもらったり、学級懇談で子どもの様子の伝え合ったりする。

〈家庭・地域の検証指標〉
家庭と連携し、課題提出率95%以上。

【授業改善以外の学力向上の取組】

○「話し方」・「聞き方」についての掲示物を教室内に掲示する。　○ペアートークやグループトークの仕方を工夫する。　○計算力・読解力(確かな学力)定着のため、チャレンジタイム(計算・読解)を行う。　○フレンドリータイムを月2回実施する。　○ドリル、テストの有効的な活用として、どの学年においても同一内容のものを複数回取り扱い、学力の定着を図る。　○ICT機器を活用した家庭学習に取り組む。　○「家庭学習の手引き」(明野中学校区)を活用する。